

interview

特別養護老人ホーム ケアタウン茶山さま



介護職 岩下さん



介護職 白谷さん

導入時は苦戦しましたか？

そうですね、どうしても今までよりも業務が増えることにはなるので新しいことを取り入れることは、難しく感じます。ユニットリーダーとして、とにかく他の職員のやる気に火をつけたくて、方法を考えていました。

そんなとき、口腔ケアの実績を入力する Yorisoi の「称号」の存在に気がついたんです。口腔ケアの回数を重ねていくと新たな称号の獲得ができるのですが、手技に慣れるためには回数をこなすことは大切なので、びったりだと思いました。もちろん、本来の目的は称号の獲得ではなく「**口腔ケアの手技を身につけること**」なので、そのあたりの塩梅はきちんとしなければならぬことは、心がけています。

継続するために工夫していることは？

他の職員には、単に「やらないといけないこと」ということでプレッシャーをかけるだけではダメだと考えています。ゼロプロ式口腔ケアをすることは、**職員と入居者さんの両者にとって良いことであると理解したうえで**、取り組める方が良いと思うんです。注意喚起として入居者さんの一覧表のその日の実施対象の方のお名前部分にマーカーをひくことで、**視覚的に訴える程度**に留めています。

口腔ケアをする上で心がけていることは？

ユニット内で**口腔ケアを実施する職員が偏らないようには意識**しています。勤務時間帯によって職員の役割は異なるのですが、口腔ケアにおいては**誰もができるようにする環境**を目指しています。そうすることによって「**お口を見ることに対する免疫**」みたいなものが身についている感覚があり、職員のお口に対する意識が上がることで新たな発見もあるんです。他のケアに対して拒否のある入居者さんに対して、口腔ケアも拒否するのではないかと身構えていたところ、意外と受け入れてもらえたことがありました。

ゼロプロ導入で目指す将来像は？

入居者さんの生活の向上につなげることが一番大切です。そのためにユニット内の職員が協力し合うことが重要だと考えています。最初は不安でしたが、セミナー受講後にスタッフ同士で練習することで感覚を掴んでいきました。今では、みんなで OHAT の結果を追いかけ、**状態が良くなっていると一緒に喜びます**。数値に基づく実践はやはり説得力があるので、モチベーションになりますね。次の OHAT 結果も楽しみです。

誤嚥性肺炎ゼロプロジェクトに実際にご参加頂いている施設職員さんにインタビューを行い、リアルな声を隔月発行にてお届けしています。普段はなかなか聞くことのできない、ゼロプロの舞台裏をぜひお楽しみください。

information

2025年1月より**確認試験がリニューアル**しています

(初級・中級実技試験)

フィードバック用紙がバージョンアップ

録画対応確認試験を開始



結果用紙とフィードバック用紙を分けて作成します。どの項目を間違えたかわかりやすいよう、チェックシートに沿った書式になっています。

zoom 録画した内容を後日確認・評価させていただく【録画対応 口腔ケア実技試験】を実施しています。ご予約も前日まで可能です！

編集後記

最後まで読んでくださり、ありがとうございます。今回の vol.22 では、ゼロプロの導入を始めて 3 ヶ月の施設の方に取材させていただきました。Yorisoi の称号のお話を伺うのは初めてだったので、活用していただけて嬉しかったです！みなさんも口腔ケア記録時にぜひ自分の称号を確認してみてください。

2025年2月 川谷

\check!!/

公式 LINE、instagram、YouTube にて情報を発信しています。

SNS



株式会社 クロスケアデンタル

編集担当：川谷

お問合せ：092-986-9600

info@crosscare-dental.jp

